

2025年上半期(1～6月期)出版市場

紙+電子は2.1%減の7,737億円、紙が5.4%減、電子が4.2%増

出版業界の調査研究機関である（公社）全国出版協会・出版科学研究所（所在地：東京都新宿区 理事長：近藤敏貴）は、2025年上半期（1～6月期累計）の出版市場規模を『季刊 出版指標』2025年夏号（7月25日発売）で発表。紙と電子を合算した出版市場（推定販売金額）は、前年同期比2.1%減の7,737億円。紙の市場は同5.4%減、電子出版は同4.2%増となりました。

紙市場は4,926億円、書籍は1.5%減、雑誌は11.4%減

2025年上半期の紙の出版物（書籍・雑誌）の推定販売金額は前年同期比5.4%減の4,926億円。内訳は書籍が同1.5%減の3,132億円、雑誌が同11.4%減の1,795億円。書籍は返品率が前年同期に比べ1.3ポイント減の31.2%に抑えられ、販売金額の落ち幅が縮小しました。雑誌は月刊誌（ムック、コミックス含む）が同9.5%減の1,546億円、週刊誌が同21.7%減の248億円。月刊誌の内訳は定期誌が約9%減、ムックが約8%減、コミックスが約11%減。日本出版販売がコンビニ配送から撤退、3月からトーハンが引き継いだ過程で雑誌販売を終了した店舗も多く返品が急増。『週刊ダイヤモンド』が店頭販売を終了し、『週刊現代』が隔週刊化するなど有力誌の刊行形態変更が相次ぎ、週刊誌の販売金額が大幅に落ち込みました。なお、この期間の当研究所の算出データに一部不明瞭な箇所が残るため、8月以降あらためて再検証をする予定で、雑誌数値は修正する可能性があります。

電子出版市場は2,811億円、コミックは4.6%増、書籍は1.7%増、雑誌は2.3%減

2025年上半期の電子出版市場は同4.2%増の2,811億円。内訳は電子コミックが同4.6%増の2,530億円、電子書籍が同1.7%増の238億円、電子雑誌が同2.3%減の43億円でした。電子コミックは続伸しつつも大ヒットに乏しく、伸び率は徐々に鈍化。各ストアは引き続き、独占・先行配信やオリジナル作品の強化を進めています。

電子書籍は、アニメ原作のライトノベルなどが底堅く売れ、写真集は絶好調です。

電子雑誌は、前年サブスクリプションの値上げによりプラスとなりましたが、緩やかながら会員数が減少し、再びマイナスとなりました。

■上半期(1～6月期) 紙と電子の出版物推定販売金額

年	2020年 1～6月期 (億円)	2021年 1～6月期 (億円)	2022年 1～6月期 (億円)	2023年 1～6月期 (億円)	2024年 1～6月期 (億円)	2025年1～6月期		占有率 (%)	
						(億円)	前年同期比 (%)		
紙	書籍	3,517	3,686	3,526	3,284	3,179	3,132	98.5	40.5
	雑誌	2,667	2,759	2,434	2,197	2,025	1,795	88.6	23.2
	紙合計	6,183	6,445	5,961	5,482	5,205	4,926	94.6	63.7
電子	電子コミック	1,511	1,903	2,097	2,271	2,419	2,530	104.6	32.7
	電子書籍	191	231	230	229	234	238	101.7	3.1
	電子雑誌	60	53	46	42	44	43	97.7	0.6
	電子合計	1,762	2,187	2,373	2,542	2,697	2,811	104.2	36.3
紙+電子	紙+電子合計	7,945	8,632	8,334	8,024	7,902	7,737	97.9	100.0

※占有率の合計は四捨五入の関係で一致しない ※電子コミック誌は電子コミックに含む



『季刊 出版指標 2025年夏号』

頁数：81 ページ

判型：B5 判

発売：2025年7月25日（年4回 25日発売）

頒価：4,400円（本体4,000円+税）送料別

【第1特集】2025年上半期 書籍・雑誌分野別動向

【第2特集】2025年上半期 電子出版市場

【第3特集】“読む楽しみ”を伝える文芸誌『GOAT』『スピン』

<本件に関するお問い合わせ>

公益社団法人 全国出版協会・出版科学研究所 担当：原・柴田

〒162-8710 東京都新宿区東五軒町6-24 TEL 03-3269-1379 FAX 03-3266-1855

<https://www.shuppankagaku.com>